

湘南民主クラブ

府川 正明 議員

福祉への取り組みは

問 介護サービスに頼る人が増加傾向。現在介護従事者が不足している中、いろいろな施策を講じている。市としての取り組みは。

福祉部長 21年度介護報酬が改定されたが、処遇改善には結びついていない。国は介護職員処遇改善交付金(仮称)を設け、23年度までに4000億円交付する対策を打ち出した。県では、福祉・介護人材緊急確保事業を、本市では、ひらつか地域介護システム会議を通じて、情報提供・共有化や事業者相互間の連携等の支援をしていく。

問 保育所の増設や定員増加対策が講じられているが、待機児童の解消には結びついていない。今後、保育ニーズに対し、どのように取り組むのか。

健康・子ども部長 本市の待機児童は、19年度に施設整備を行い、平成20年4月には9人となったが、平成21年6月1日現在、148人となっている。国は新たな経済対策として、「新待機児童ゼロ作戦」の前倒し実施を図り、都道府県に「安心子ども基金」を創設した。本市でも基金を活用し、22年度に保育所の新設および既設保育所の増改築等に合わせ定員増を行い、23年度には260人の入所定員



神田保育園

中小企業への支援は

問 本市でも緊急経済対策として、金融支援対策等に取り組んでいる。市として、今まで取り組んできた効果は。

市長 本市の緊急対策として、融資金額の1%補助、融資適用要件の緩和、融資返済期間の延長、信用保証料補助限度額の引き上げを行ってきた。公共工事関係では、平成21年4月に最低制限価格、低入札価格調査制度の調査基準価格等の引き上げ等を行った。21年度の支援策として、資金調達の円滑化、公共事業等の前払金限度額の引き上げ、中間前払金制度の導入、地域建設業経営強化融資制度を実施している。

土地区画整理事業

問 大浜地区土地区画整理事業の事業費として、21年

度の予算が100万円計上されている。この程度の予算でどのような取り組みがなされるのか。

まちづくり事業部長 20年度まで都市計画決定や事業認可に向けて調査を実施した。事業の実現には、土地所有者である平塚市漁業協同組合の事業への関わり方について、協議を進めることが大切である。また、国や県との調整も必要であり、

今までの調査結果を基に、協議を行うための資料を作成していく。また、安心・安全のまちづくりとして、快適な生活環境を確保するため、都市基盤が必要との認識は変わらない。当然、区画整理事業は市に負担がかかる。今後、負担軽減を図りながら、国や県、地元の権利者の協力や負担をどのように事業に取り込めるか、十分に研究・検討する。



現在の大浜地区

問 真田特定土地区画整理事業の第3次計画変更が真田特定土地区画整理組合から提案された。この事業がこれだけ長い年月と、負担がかかるとは想定されなかったと思う。今後この事業に対しての取り組みは。

まちづくり事業部長 組合では、長期化する地価の下落に伴い、保留地処分金収入の減少により、事業計画

の見直しを行った。本市も、早期に完了させることが必要と考えている。今後、助成すべき事業を洗い出し、必要額の精査を行い、本市の支援の妥当性を整理したうえで判断していく。

山口 聖 議員

本市の経済活性化について市長に問う

問 市内産業の活性化に向けて、経済緊急支援策として、今後どのような制度を検討していくのか、伺いたい。

経済部長 信用保証料補助限度額の増額は、21年度も継続しており、融資金額の1%補助についても実施を検討するなど、柔軟な支援策を念頭においている。雇用に関しても、「平塚市緊急雇用連絡会」を活用してハローワークと連携を図っていきたい。

問 新庁舎建設等の大型事業には、市内産業の活性化、育成という観点から、市内産業が深く関わるべきと考えるが見解を伺いたい。

市長 技術力、さらにコストも両面考えなければならぬので、簡単にいくかどうかは分からないが、可能になるような方法はないのか視野に入れ考えていきたい。

問 本市のふるさと納税の実績について伺いたい。

経済部長 特定は難しいものがあるが、20年度に市外に居住する方の寄付金は、3人で152万円であり、一方、20年度の税の申告状

況から見ると、居住する方で、本市以外の市町村等に寄付された方は、31人で、435万1000円である。

問 ふるさと納税に関して、取り組みが遅れていると考える。例えば、何万円寄付された方には、本市の特産品を特典として付けるということも考えてよいのではないか。また、ホームページ等を活用した情報発信も必要だと考えるが、見解を伺いたい。

市長 ふるさと納税について、質問を聞き、積極性が足りなかったと認識した。提案を真摯に受け止め前向きに検討したいと思う。

問 平成19年の県の調査によれば、本市の観光客数は年間約640万人であるが、ほとんどが日帰り観光客である。宿泊していただくべく、滞在型観光に向けた取り組みについて伺いたい。

経済部長 現在、秦野市、伊勢原市と連携した広域観光ツアーを日帰り中心に検討しているが、ツアーが定着した後は、農業体験など、観光メニューを増やし、市内の宿泊施設を利用したツアーを実施していきたいと考えている。

問 食を生かしたまちづくりに関して、さまざまな取り組みをされているが、今のところ起爆剤がないという認識を持っている。例えば、七夕まつりで、市内の特産品が食べられるという一角を設けたり、総合公園や競輪場のスペースを使って、「B級グルメ平塚予選大会」を催したりと、積極

的にサポートや発信を行っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

市長 大変前向きな提案をいただいた。平塚の特徴をPRすることで、食を通じて観光都市化につなげていく道を探りたい。

小泉 春雄 議員

がん検診を問う

問 Aさんは平成20年12月に本市の集団胃がん検診を受診し、その月末に腹痛で緊急搬送された。年が明けて検査をしたところ、胃にがんがあり、他の臓器にも転移をしていた。平成21年1月半ば過ぎに本市から、がん検診の結果が報告された。「異常でございませぬ。」という内容だったそうである。このことの事実関係を尋ねる。

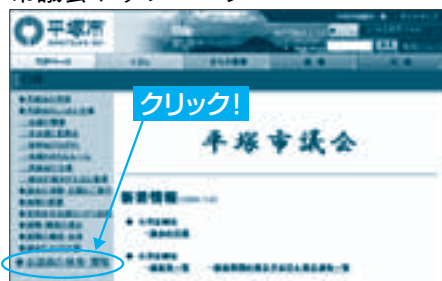
健康・子ども部長 言われた事例は承知している。問 市長はどのような所見をお持ちになったか。

市長 大変残念だと思う。他に転移している程の重大な事態になっているものが集団検診では70%から90%という枠の外で見逃されてしまうというのがまだ実態なのかという点では、ご本人に対して大変気の毒でありさらなる集団検診の精度を上げるということに医療界を挙げて努力をしていただかなければならない課題だと考えさせられた。身近なところでこのような方がいられたというのは、集団検診をお勧めし主体で行っている平塚市のトップとし

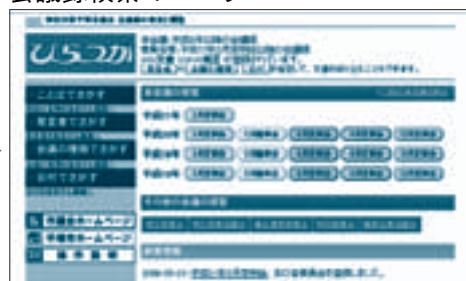
会議録検索システムのご利用を

議会だよりでは、審議内容などの概要のみを掲載しています。詳しい内容は、市議会ホームページ内の会議録検索システムをご覧ください。会議録検索システムでは、平成9年5月以降の本会議と臨時会会議録および平成17年3月以降の各常任委員会と平成17年2月以降の議会運営委員会会議録を掲載しています。

市議会トップページ



会議録検索のページ



て、ご本人、ご家族、周りの方々に対して大変申し訳ないというよりほかない。問 22年度契約について契約方法を見直す考えはあるのか聞きたい。

健康・子ども部長 過去の実績・地域性等勘案し21年度は同じ実施機関と随意契約している。22年度は今後のことでもあり未定である。

地域福祉活動を担う

問 地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、町内福祉村の役割分担は。

福祉部長 地区社会福祉協議会は、市内23地区を単位

に敬老祝賀会、一人暮らし高齢者の給食会、各種募金活動等を実践している。民生委員児童委員は、地域住民の生活上のさまざまな相談を受け、行政や地域包括支援センターなどの専門機関への連絡・協力を行っている。町内福祉村は、地域住民の方の自主的、主体的な参加を基本にお互いに支え合い、助け合いながら地域に住む誰もが安心して生活できる仕組み作りを目的としており、身近な生活支援活動と気軽に立ち寄れるサロンなどのふれあい交流事業を行っている。